

はじめに

東濃地科学センターでは、高レベル放射性廃棄物を安全に処分するための地層処分技術に関する研究開発のうち、国の計画に示された深地層の科学研究（地層科学研究）を進めています。

地層科学研究は、地下の深いところが「どうなっているのか」「なぜそうなったのか」「これからどうなっていくのか」を知るための手法を確立するためのものです。

当センターでは、「超深地層研究所計画」を進めており、研究坑道などを設置しながら研究開発を行うための瑞浪超深地層研究所を平成14年7月に着工し、平成15年7月には研究坑道の掘削を開始しました。また、当センター周辺の広い範囲を研究対象とした「広域地下水流動研究」および火山、地震・活断層、隆起・侵食などの天然現象を対象とした「地質環境の長期安定性に関する研究」を行っています。

なお、「東濃鉱山における調査試験研究」については、平成15年度末をもって坑道を利用した調査試験研究を終え、研究成果の取りまとめを実施しています。

地層科学研究は放射性廃棄物を用いる研究ではありません。また、この地域を放射性廃棄物の処分場とするための研究でもありません。

